

「伝えたい」という想いのある発表

毎日、だいたい1時間目に授業の様子、子どもたちの様子を参観していくと、最近では年度末・卒業に向けて、とともに、3月5日(土)の授業動画配信に向けた準備の場面を見かけるようになりました。自分が頑張ったことや更に頑張りたいことを一生懸命書いている姿、ペアでの発表に向けて役割分担をして発表内容をまとめている姿など様々です。

本来であれば、自分の1年間の成長や学びの成果を直接、参観していただくこと、家庭でその様子について話題にさせていただくことができれば、一番良かったのですが、如何せんこの状況下ですから通常通り実施することはできません。

当初は、授業参観・学級懇談会ともに中止の方向で進もうとしていましたが、子どもたちの「お家の人の前で発表したい。」という想いが強く、日吉小学校としては初の授業動画配信を行うこととしました。(過日、cocoa並びに案内文書内にも記載した通り、固定カメラであるため、授業風景が全景のままであること、動作環境によってはうまく接続できない場合があること等が想定されます。その他、不測の事態が生じることも考えられますが、初の試みであるということからご容赦下さい。)万が一、不測の事態が生じた際には、実際の様子について、お子さんからじっくりと話を聴く機会としていただけたら有難いです。

さて、授業を仕組むにあたって、子どもたちの欲求(興味関心)をどのように生み出すか、いかに引き出すかという点はとても大切にしていることです。

「なぜだろう。」「不思議だ」→「考えてみたい」「調べてみたい」→「発表したい」「仲間の意見を聞きたい」→「できた」「わかった」「まだわからない」「次はできるようにしたい」といった、思考の流れができれば最高です。

今回の授業参観は、当初からの計画ということもあり、子どもたちの「伝えたい」という想いが満ちてきていると言えます。

こうした時は、子どもたちにとって成長の大きなチャンスです。「頑張ってよかった、よし、次も頑張ろう」という新たな意欲につながっていくためには、よさを『認める』ことです。直接、見聞することができないために難しいところもあると思いますが、不足分はお家での会話でカバーし、プラス材料として扱っていただけたら有難いです。宜しくお願いします。

「伝えること」は、時と場によって、厳しい状況(「言いにくい・・・」という想いや「言ってもよいのだろうか」といった迷いが生じる状況)に置かれることも多々あります。しかし、「伝えられた」「伝えられなかった」という結果は別として、「自分だったら・・・」という自分の考えがあるかないかで、その後の取組も大きく変わってきます。どんな場面であっても、まずは自分なりの考えをもつことを大切にしていきたいです。